

平成30年11月 市薬研修案内

会員各位

一般社団法人福岡市薬剤師会

下記のとおり、研修会を開催いたします。

◇開催場所：福岡市薬剤師会館 4F 講堂 福岡市中央区今泉 1-1-1 TEL：(092) 714-4416

開催日	研修会名	演題・講師など
11月6日 (火) 19時30分	Basic Study ～がんセミナー特別編～ 第2回 《学術・研修委員会》	演題：「慢性骨髄性白血病治療の進歩と薬剤師への期待」 講師：熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科 教授 熊本大学医学部 血液・膠原病・感染症内科 客員教授 川口 辰哉 先生 ◇PS項目：確認中 【要旨】CMLは4～5年の慢性期を経て急性転化すると極めて予後不良の疾患であったが、2001年にチロシンキナーゼ阻害薬(TKI)イマチニブが登場すると状況は一変した。イマチニブで8割以上の慢性期患者が少なくとも10年は生存可能となり、さらにイマチニブ耐性にも効果のある強力な第二世代(ダサチニブ、ニロチニブ、ボスチニブ)や第三世代(ポナチニブ)のTKIが登場し、ほぼ全ての患者が健常人と同等の寿命を全うできるようになった。TKIは非常に高価だが、20013年にはイマチニブの後発医薬品が上市され、一部ではTKI中止でも再発しない場合があることが判明した(Treatment free remission: TFR)。今後は、医療経済や治療(TFR)を念頭に置いたテーラーメイドの治療戦略が求められており、TKIの副作用をうまくマネジメントし、服薬アドヒアランスを維持することがその成功の鍵を握っている。今回の研修ではCML治療の進歩を紹介し、テーラーメイド治療における薬剤師に期待される役割について考えてみたい。
11月7日 (水) 19時30分	漢方研修会 《学術・研修委員会》	情報提供：(ツムラ) 演題：「素問の陰陽五行説理論から、医と食について考えてみよう！」 講師：九州大学大学院 薬学研究院 臨床育薬学分野 准教授 島添 隆雄 先生 ◇PS項目：2-2-117・118/2-3-28/2-3-30
11月8日 (木) 19時30分	東大・薬剤師会 育薬セミナー 《学術・研修委員会》	テーマ：パーキンソン病治療剤(選択的MAO-B阻害剤) ラサギリンメシル酸塩 製品名：アジレクト錠1mg/アジレクト錠0.5mg(武田薬品工業) 講師：東京大学大学院 薬学系研究科 育薬学講座 教授 澤田 康文 先生 ◇PS項目：1-1-1/1-2-1・2/1-3-1～4/2-1-4・6・22・24・26・29・30 2-2-120～123・127～136・140～153 2-3-1・3～5・19・31～38/4-1-1～5
11月9日 (金) 19時30分	在宅介護研修会 《在宅・介護委員会》	演題：「多職種連携における現場で困らないための基礎知識」 講師：福岡市医師会訪問看護ステーション東部 管理者 津隈 睦美 様
11月12日 (月) 19時30分	学校薬剤師研修会 模擬飲酒防止教室 《学校薬剤師委員会》	演題：「平成30年度文部科学省補助事業『アレルギー講習会』関連報告」 講師：学校薬剤師委員会 委員 中島 亜希 先生 演題：「学校薬剤師による飲酒防止教育模擬授業」 講師：学校薬剤師委員会 委員 ディバナディ 綾子 先生 体験内容：「飲酒状態体験ゴーグルを活用した体験会」
11月19日 (月) 19時30分	薬局で働く人のための 働き方研修会 《第2回》	演題：薬局で働く人のための働き方研修会 －事例からハラスメントを考える－ 講師：広島大学ハラスメント相談室 横山 美栄子教授 ※この研修会は、福岡市薬剤師会会員及び会員薬局に勤務される方は無料で受講いただけます。

開催日	研 修 会 名	演 題 ・ 講 師 など
11月20日 (火) 19時30分	Special Study 《九州医療センター》 連携セミナー 《学術・研修委員会》	演 題：「HR+HER2-転移再発乳癌治療におけるCDK4/6阻害剤の役割について」 講 師：国立病院機構九州医療センター 乳腺外科 科長 岩熊 伸高先生 ◇PS項目：確認中
11月21日 (水) 19時30分	薬物療法研究会 《学術・研修委員会》	情報提供：「パーキンソン病治療剤 エフピーOD錠2.5」 (エフピー) 【講演1】 演 題：「パーキンソン病早期における薬物治療」 講 師：福岡山王病院 脳・神経機能センター 神経内科 吉村 怜 先生 【要旨】パーキンソン病は、運動緩慢、振戦、筋強剛を中心とした運動症状の他に自律神経症状、うつ症状、睡眠障害、認知症など多彩な非運動症状をも合併する神経変性疾患である。経過の長いパーキンソン病では治療上様々な問題が生じるため、適切な薬剤選択が重要である。今回は、本年改訂された診療ガイドラインをふまえ、パーキンソン病早期における薬物治療について概説する。 【講演2】 演 題：「パーキンソン病進行期における薬物治療」 講 師：国立大学法人 九州大学病院 神経内科 講師 松瀬 大 先生 【要旨】パーキンソン病の進行期の薬物治療に関して神経内科医が考えていること、薬剤師に留意していただきたい点について。 ◇PS項目：確認中
11月22日 (木) 19時30分	東大・薬剤師会 育 薬 セ ミ ナ ー 《学術・研修委員会》	テーマ：オキサゾリジノン系合成抗菌剤 テジゾリドリン酸エステル 製品名：シベクトロ点滴静注用200mg/シベクトロ錠200mg (MSD) 講 師：東京大学大学院 薬学系研究科 育薬学講座 教授 澤田 康文 先生 ◇PS項目：1-1-1/1-2-1・2/1-3-1~4/2-1-4・6・22・24・26・29・30 2-2-99~101・120~123・127~136・140~153 2-3-1・3~5・25・31~38/4-1-1~5
11月27日 (火) 19時30分	第68回 Primary Health Care 《学術・研修委員会》	情報提供：「タケキャブ錠について」(武田薬品工業) 演 題：「高齢化社会に求められる糖尿病の治療戦略と薬剤選択」 講 師：九州大学大学院医学研究院 病態制御内科学 特任助教 藤井 雅一 先生 ◇PS項目：2-2-53~55
11月29日 (木) 19時30分	漢方研修会 《学術・研修委員会》	情報提供：(ツムラ) 演 題：「かぜの代表的処方」 講 師：三宅漢方医院 院長 三宅 和久 先生 ◇PS項目：2-2-117・118/2-3-28/2-3-30

☆研修会の動画配信システムについて（福岡市薬剤師会 会員向けサービス）

福岡市薬剤師会の会員の先生方は、福岡市薬剤師会の会員向けホームページで過去の研修会の動画及び配付資料を閲覧することが出来ます。

閲覧の際は、事前に登録をお願いいたします。詳しくは、事務局へお問い合わせください。

◇PS（プロフェッショナルスタンダード）項目について

薬剤師が生涯にわたって学習すべき項目をまとめた「プロフェッショナルスタンダード(PS)」(日薬作成)の該当項目を研修一覧に追加しました。(一覧は、市薬ホームページにてご確認ください。)

◇研修会資料は福岡市薬剤師会ホームページの学術研修委員会資料に掲載しています。

◆取得研修単位：1単位 ※育薬セミナーシールのみ1.25単位

※県薬研修カードをお持ちの方は、必ずご持参下さい。

※研修会の開始時刻より20分以内に受付を済まされた方には、研修単位を発行いたします。

その後受付けの方は、受講は可能ですが研修単位の発行は出来ませんのでご了承ください。

※研修単位は、申請状況によっては単位が認められない場合もございます。ご了承下さい。

◆受講料：福岡市薬剤師会所属のA会員・B会員・研修メンバー会員の先生は、無料。

それ以外の方（非会員を含む）は、受講料として3,000円の負担をお願いします。

※福岡市薬剤師会で開催される研修会・説明会等の運営は、保険薬局会費により運営しております。

詳しくは、福岡市薬剤師会事務局へお問い合わせください。(TEL：092-714-4416)